

宜基渉第 85 号

令和 3 年 1 月 29 日

外務省沖縄担当大使

橋本 尚文 殿

宜野湾市長 松川 正則

普天間飛行場における PFOS 等に関する立入調査について（要請）

貴職におかれましては、本市はもとより沖縄県における基地問題の解決に向け、ご尽力されていることに敬意を表します。

さて、近年、沖縄県の調査において、普天間飛行場周辺の湧水等から高濃度の PFOS 等が検出され、市民の不安が高まっております。

さらに、令和 3 年 1 月 18 日に報告された令和 2 年度有機フッ素化合物環境中残留実態調査結果（夏季）についても、環境省が定めた PFOS 及び PFOA の暫定指針値を超過した地点が多く確認されております。

現在、普天間飛行場内における泡消火剤については、米側において、消火訓練の際には使用していないことや、PFOS を含まない泡消火剤への交換への取り組みが行われているものと承知をしておりますが、依然として、PFOS 等に関する水質の改善はみられていない状況であります。

つきましては、市内で検出された PFOS 等の汚染源の特定、原因究明及び市内の環境等を改善することについて、ご理解となお一層のご尽力を賜りますよう、次のとおり要請いたします。

記

1. 沖縄県及び本市立ち合いのもと、普天間飛行場における PFOS 等に関する立入調査の実現を図ること。